

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No6.7	身体拘束しないケアや高齢者虐待防止、利用者の権利擁護について、さらに理解を深めたい。	利用者の人権、尊厳を保持したサービスを提供することができる。	職員に対して身体拘束や高齢者虐待等についての外部、内部研修を定期的実施する。	6ヶ月
2	No35	水や食料など災害時備蓄が十分ではなかった。	災害が起きたとしても不安なく継続して生活が続けることができる。	まずは3日分の備蓄(水・食料)を確保する。また地震が発生した場合、ホーム内に危険か所がないかを再点検をする。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。